

2021年4月26日

各位

会社名株式会社グローバルウェイ
 代表者名代表取締役社長小山義一
 (コード番号: 3936)
 問合わせ先 取締役コーポレートサービス本部長 赤堀政彦
 TEL. 03-5441-7193

通期連結業績予想及び個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最新の業績動向等を踏まえ、2021年3月9日に公表いたしました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想および個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

2021年3月期 通期連結業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,240	百万円 △340	百万円 △320	百万円 △155	円 銭 △132.91
今回修正予想(B)	1,220	△362	△342	△187	△161.12
増減額(B-A)	△20	△22	△22	△32	—
増減率(%)	△1.6%	—	—	—	—
(参考)前期連結実績 (2020年3月期)	1,300	△186	△188	△154	△132.15

2. 通期個別業績予想の修正

2021年3月期 通期個別業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,140	百万円 △45	百万円 △35	百万円 10	円 銭 8.57
今回修正予想(B)	1,148	△28	△19	29	24.94
増減額(B-A)	8	17	16	19	—
増減率(%)	0.7%	—	—	190.0%	—
(参考)前期個別実績 (2020年3月期)	1,264	△57	△51	△57	△48.93

3. 修正の理由

当社シェアリングビジネス事業においては、タイムチケットプロの立ち上がりの遅れを取り戻すとともに、ユーザー数増加及びサービス利用の活性化に重点を置いており、広告宣伝費の投資及びシステム改修を行っていましたが、直近の2021年3月9日に公表いたしました2021年3月期業績予想の修正時点から見込受注が下がったことに加え、広告宣伝費等のコストが増加いたしました。

一方で当社ビジネスアプリケーション事業においては、DX（注1）を重点キーワードと定め、Red Hat 社との販売代理店契約に加え、インバウンドマーケティング及びセールスのソフトウェア企業、HubSpot 社と販売代理店契約を締結し、継続してマーケティング及び営業活動を推し進めており、堅調に推移していましたが、直近の2021年3月9日に公表いたしました2021年3月期業績予想の修正時点から更なる追加受注があったことや、全社を挙げて不要不急のコスト見直しを図りコスト削減を早期実現しました。

その結果、通期連結業績予想におきましては、前回発表予想に比べて売上高は2千万円減少し12億2千万円となり、営業利益は2,200万円減少し営業損失3億6,200万円となり、経常利益は2,200万円減少し経常損失3億4,200万円となる見込みです。しかしながら通期個別業績予想におきましては、前述のビジネスアプリケーション事業の業績向上のため当期純利益が2,900万円となり、黒字転換額は上振れの見込となりました。

（注1）DXとは、デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略で経済産業省では、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。」と定義。

出典

経済産業省「デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン」
<https://www.meti.go.jp/press/2018/12/20181212004/20181212004-1.pdf>

（最終アクセス2020年10月26日）

※本資料に記載されている業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上